

市民活動団体 応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。

掲載申込みの詳細は、市ホームページをご覧ください。

☎広報情報課 983・2620

三島市 市民活動団体応援 検索

11月1日号への掲載の申込みは、9月24日(金)までに、
広報情報課

✉kouhou@city.mishima.shizuoka.jp、FAX 983・2719

※2019年8月から掲載要項・申込用紙が変更になっています。確認の上、申込みしてください。

広報みしま	締切日
12月1日号	10月26日(火)
令和4年1月1日号	11月11日(木)
令和4年2月1日号	12月21日(火)

【申込みの注意事項】

- ・紙面に限りがあるため、掲載できない場合や、内容を省略する場合があります。了承のうえ、お申込みください。
- ・掲載の可否は原稿の確認の連絡をもって代えるものとし、掲載不可の場合には連絡しません。
- ・掲載は無料
- ・掲載基準を必ず確認し、了承のうえでお申込みください。

※掲載基準などの詳細は市ホームページ



▲市民活動団体応援コーナー詳細

子育て・教育

2021 FALCon 高校生国際会議 @ Mishima

☎9月21日(火)～10月17日(日) 県内高校生の課題探究ポスター、中学生 SDGs 英語新聞、会議参加高校生による会議成果の発表などを、期間中 Web 上で公開▶国際会議特設サイト (<https://falcon2021.jp/>)
☎三島北高校教頭・菊地 986・0107

文化

ブラームス交響曲第1番「三島フィルハーモニー管弦楽団コンサート」延期のお知らせ

☎新型コロナウイルス緊急事態宣言に伴い、9月26日(日)に開催を予定していた当コンサートは、令和4年4月24日(日)に延期となりました☎静岡地域教育芸術協会 ☎955・7211

琴城流大正琴伊豆琴慧会 10周年記念演奏会

☎10月10日(日)正午(開演) ☎市民文化会館大ホール☎第1部「思い出のメロディー」12曲演奏。津軽三味線、尺八、ハーモニカのコラボもあり。第2部「大正、昭和、平成、令和の時代へ」13曲演奏。演奏とともに歴史を語る。10周年を祝う演奏会とする☎無料☎伊豆琴慧会・神田 080・2621・4831

第21回酔陶会作陶展

☎①10月1日(金)午後2時～5時②10月2日(土)午前9時～午後5時③10月3日(日)午前9時～午後4時☎生涯学習センター3階市民ギャラリー☎酔陶会会員による陶器作品の展示☎無料☎鷹 ☎080・3447・4522

その他

税理士による無料税務無料相談会

☎9月15日(水)午後1時～3時(要予約) ☎東海税理士会三島支部税務指導所(大宮町3・20・21) ☎・☎東海税理士会三島支部 ☎972・1668(午前10時～午後3時)

第5回山内康彦先生の「保護者のための特別支援教育講演会」

☎9月18日(土)▶午前9時(受付)▶午前10時～正午②▶午後1時(受付)▶午後2時～4時☎韮山文化センター大ホール ☎①早期からの適切な支援によって二次障がいはいは防ぐことができる②特別支援が必要な子の高校と就労の話☎無料☎(一社)希望たんぼクラブ ☎055・900・9010

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、掲載した事業を中止・延期または内容変更する場合があります。

歴史の小箱

地域の歴史

八反畑

No.400

郷土資料館では、企画展「三島のはじまり 旧石器～古墳時代」を開催中！（12月19日まで）

郷土資料館（楽寿園内）☎971・8228

今回は八反畑地区の歴史をご紹介いたします。

八反畑は、三島市街を南流して大場川に合流する御殿川の流域西側に広がる集落です。江戸時代には石高が一七五石余で、比較的小規模な村でした。当初は幕府領でしたが、江戸時代後半の文化八年（一八一二）以降は沼津藩領となりました。江戸時代から明治二十二年（一八八九）までは八反畑村でしたが、その後周辺諸村と合併し中郷村になり、昭和二十九年に三島市と合併しました。

ところでこの「八反畑」、初めて見た人にはなかなか読めない、ちょっと変わった地名ですね。江戸時代に編纂された『豆州志稿』によれば、元は「八段畑」と記されており、文字通り八段（八段の段々畑もしくは段・反は昔の面積の単位で一反は約一〇〇〇㎡、八反の畑）の畑が

あったことから呼ばれていた地名が後に村名になったものとしていいます。「八反畑」と書かれることもありましたが、中世には隣の鶴喰郷（鶴喰村）の一部でしたが、天正十一年（一五八三）に甲州（現在の山梨県）から渡辺氏が移り住み、一村として独立したと伝えられています。

八反畑出身の人物には、幕末から明治にかけて活躍した箕田寿平がいます。彼は天保十一年（一八四〇）、八反畑の名主・渡辺万介の息子として生まれ、分家して箕田を名乗りました。十五歳のとき三島宿で漢学塾を開いていた福井雪水に弟子入りし、漢学や漢詩を学びました。その後江戸へ出て、三島出身で当時江戸俳諧の中心で活躍していた孤山堂卓郎のもとで俳諧を学びました。師匠の名を継ぎ、俳人・孤山堂凌頂として俳諧研究会を主宰し、俳諧雑誌を出版するなど俳句の振興に尽くしますが、「箕田寿平」としても多くの活躍をします。戸長（明治時代の公職で村長のような立場）などの職務についたほか、

豆相鉄道（現在の伊豆箱根鉄

道）の敷設に協力し、また後素義塾という私塾を開いて教育にも携わるなど、地域社会にも貢献しました。後素義塾は明治五年（一八七二）以降は中郷学舎として小学校となり、現在の中郷小学校へとつながります。彼の手柄を表すエピソードとして、最初の師・福井雪水との関係が知られています。雪水の家が火事に遭った時には家の再建に尽力し、江戸へ出てからも帰郷の際は自宅に招いて度々歓待するなど、恩師を忘れなかつたそうです。また、雪水が晩年に不遇となり家を失った際は、自宅に引き取って最期を看取ったほか、葬儀や埋葬の世話までおこない、弟子として生涯、礼を尽くしました。



▲箕田寿平 肖像（画像提供：関守敏氏）

YouTube
市公式 YouTube チャンネルで配信中

配信中！
YouTube
三島市

「みしま思い出フィルム」・「みしま思い出写真館」

三島の“昔”を動画でお届けしています。ぜひご覧ください。

問合せ 広報情報課 ☎ 983・2620



▲市公式 YouTube

「みしま思い出フィルム」

「みしま思い出写真館」



楽寿園にキリン
（昭和30年代）



新幹線三島駅開業
（昭和44年）



最終運行の路面電車
（昭和37年）



三島駅開設50周年
（昭和59年）